

2 部経済学科Ⅲ

高橋 梢

私が大学生生活で一番心に残ったのはゼミです。一番思い出が出来たのも、仲の良い友人が出来たのもゼミでした。共同論文の作成を通して仲も深まり、今では何でも気兼ねなく話が出来る仲になりました。また、合宿へ行ったりと色々な経験もさせてもらいました。うちのゼミは人数は少ないですが、色々な経験をしてきた人、個性的な趣味を持っている人、バラエティーに富んでいたのもとても刺激がありました(笑)。向上心を持つ人が多くいる中、無知な私はたくさん学ぶことができました。まだまだ学び足りないことが多く、これで学生生活が終わるのが、そういう意味ではとても残念です。

せっかく大学に入ったのであれば、ゼミに入り、論文の作成に没頭することが良い経験になると思います。特にサークルに入っていない方は、大学生生活で一つでもこれやってきたと言えるものを作ったほうが良いと思います。

なによりも就職活動をする時にそれは役に立ちます。特に3年生になると、ゼミの活動もあるし、就職活動もあるしで、とても忙しくなると思います。私は就職活動を実際に行うまでは、どんなことを具体的にするのかイメージを抱けなかったのも、何の準備もしていませんでした。実際に就職活動を始めると、自分をアピールする材料や経験談を考えるのにとっても困りました。何でもいいので自分が一生懸命に打ち込めるものを今から探してみることが、後々の就職活動に役立てられると思います。また私は約1年近くも就職活動を続けてきました。バイトもその間は思うように続けられないので金銭的にも苦しい時がありました。交通費も大変かかるので、そうした事前の準備しておくことで、随分やりやすくなると思います。また、就職活動は本当に本人のやる気でしかないと思います。精神的に辛くなる時が一度となく、何度もきます。ですが続けようとする根気は本人のやる気でしかないのも、自分との戦いだと思います。

今は卒業を控えて、やり残したことがたくさんあります。卒業までの短い期間で、少しでもやり遂げたいです。大学に進学させてくれた家族に感謝をしたいです。また、2年間お世話になった、藤井先生、ゼミ生のみんなにもお礼を言いたいです。

卒業してからもお付き合い宜しくです♪♪

玉那覇 麻衣

卒論に関しては、「玉那覇は卒論は出せないだろうなと思った。」と先生から思われていたほど、他のゼミ生と比べかなり出遅れていた私でした。

自分でも「本当に間に合うのかしら？」と考えてしまうくらいでしたが、10月から毎週水曜日に6限が始まるまで研究室で先生とマンツーマンの卒論指導が始まり、そのおかげで少しずつ文章、グラフ、表が増え、11月後半ごろにはなんとか形になり、光が見えてきました。12月に入ってから締切最終日の10日までは、正直あまり記憶がないです(笑)。毎日パソコンの前にかじりついて、ひたすら文章を考えていて、その文も何度も先生に添削され、しまいには「こんな日本語の文はない!!」と言われ、研究室にこもり文章を打っていた日もありました。きつかったし、大変だったけど、楽しかった!という気持ちが大い気になります。研究室にこもりながら指導を受けたり、一喝されたり、休

憩でお菓子を食べたりといったあの時間は私たちにとってとても貴重で有意義な時間だったと思います。

卒論を書いて感じたことは自分でテーマを決め、情報を集めて、グラフを作り、文章を作るという作業はとても大変だということです。与えられた課題ではなく、自分で問題を探して、それについて考えていくことは時間もかかるし。頭も使います。そんな経験ができるのもやはり「卒業論文」を書くからこそ味わえるものだといえるのです。

そして、本や雑誌、新聞記事を読むことが大事！！ インターネットだけでは十分に調べることはできない！！ 本や雑誌のほんの数ページにヒントや卒論に使えるネタが載ってるので、ネットに頼りすぎてはダメだなと痛感しました。

完成できないだろうと思われていた私でさえ、なんとか提出することが出来たのだから来年また卒論を書く後輩たちには、粘って喰らいつきながら必死でやれば出来るんだよ！ってことを伝えたいです。

私は、教職志望でただ今勉強中です。就職活動もしましたが、教育実習の経験が教師を目指すきっかけとなりそれからはしていません。「勉強する」といっても結局は春からフリーターです。しかし、目標を持ち、他の人より少し遠回りをしてでも叶えたい夢があるから頑張れるし、応援してくれる両親、友人たちもいるので心強いです。

最後にゼミ活動ですが、我が「藤井ゼミ」はなかなかの強者揃いだと思います。とても集まりがよく、先生をはじめみんなコンパ好き！ 大学でこんなに親しくできる先生に出会えるなんて思ってもいませんでした。卒論の話やなかにはくだらない話もたくさんしました。思い出も増え、写真も増え、大学最後の1年はゼミのおかげで本当に楽しかったです。

ゼミ生も全員いい奴ばかりで恵まれたな～と思います。2部のゼミで合宿をしたりコンパをしたり、これだけ活動的なゼミは藤井ゼミくらいだと思います。ゼミ選びは重要なので慎重に考えて入ることが大事だと教わったので、後輩たちにアドバイスができたなら私の藤井ゼミでの話しをしたいと思います。せっかく大学にきたのにゼミに入らないなんてもったいない！！ 時間がある学生時代だからこそ卒論や合宿もできるのだから、是非後輩たちにもその楽しさを味わってもらいたいと思います。

汐見 亮

ゼミの合宿に参加した時はとても楽しかったです。まず、堀内さんの合宿の予定の計画力を見習いたいと思いました！ そして、先輩達とたくさん歩いた山道はとても長かったです、良い思い出です。一井さんの川での稽古も本当に笑える思い出です。また、合宿を通し、先輩達を見ていると、とても仲が良い中でも、料理時など、それぞれが役割を担っており、良い友人関係で正直うらやましいなと感じました！ そして、先生の話は妻籠、馬籠に行った際にいろいろと説明をしていただき、なんとなくではありますが、昔はこうだったのかなと少し情景を思い浮かべるコトができました！

ゼミで秋葉原のメイドカフェに行ったことも楽しく、良い経験ができたと思います！自分は普段全く行かない所であり、きっかけがない限り一生行かない所であると思います。しかし、ゼミで行き、このような世界もあるんだと勉強になりました！

普段の呑み会などに参加した場合、就職活動において分からない点を聞くと先輩の体験談が聞け、参考にさせていただいています！また、女の先輩の話はいろいろと本当に勉強になります。

このように、参加することで楽しい思い出が増えると思います！